

⑦ 持続可能な農業

プロジェクト 環境負荷低減による持続可能な農業の実践拡大

目標

- ・環境にやさしい農業の取組面積 <特別栽培> R3：499ha → R8：700ha
<有機農業> R3：538ha → R8：900ha

挑戦する内容

- ・土壌診断のデジタル化と堆肥の活用促進
- ・プラットフォームを核とした環境にやさしい農業の拡大

関係者の声
=対話

- ・堆肥の利用率を向上させるためには、県内で生産される堆肥の均質化・高品質化が重要であり、このレベルアップに向けた取組が必要（関係団体）
- ・「施肥なび」は詳細な情報提供が可能であり、現地指導で使える便利なツール（JA）
- ・将来は環境にやさしい農業が主流になると思うので、今から準備が必要（生産者）
- ・環境にやさしい農業に対する消費者の理解が進んでいない。価格に結び付くよう消費者へのPRを強化してほしい（生産者）

役割分担

- ・生産者：堆肥を活用した健康な土づくり、環境負荷低減活動の実施
- ・JA：土壌診断データの提供、研修会の開催、「施肥なび」の活用等
- ・市町村：研修会等への参加、生産者への情報提供等
- ・県：研修会の開催、現地指導等

変革後の姿

- ・有効なデータの活用により効果的な生産性向上が実現
- ・消費需要に応えられる安全・安心で良質な農産物の安定供給

令和8年度計画

挑戦する内容

- 1 土壌診断のデジタル化と堆肥の活用促進
 - ・デジタル技術を活用した土壌診断情報の提供と「施肥なび」の機能拡充
 - ・県産堆肥の品質検査、技術的サポートの実施
- 2 プラットフォームを核とした環境にやさしい農業の拡大
 - ・みどり認定者等の拡大・取組強化
 - 市町村・JAと連携したみどり認定制度の周知強化
 - 有機農業等の取組拡大のための技術実証
 - みどり認定者を対象とした「みえるらべる」の登録モデルの作出
 - ・有機農業等実践者の育成・定着
 - 農業EX塾におけるベテラン農業者による伴走支援・交流の強化
 - 超プレミアム米挑戦者に対するチャレンジ支援
 - 実践者向け研修会・有機農業指導員養成研修会の開催
 - ・プラットフォーム登録者の交流促進
 - プラットフォーム登録者を参集した商談・交流会の開催
 - 消費者をターゲットとしたエコ農産物の生産者・活用する飲食店等の紹介
 - 飲食店等によるエコ農産物を活用したメニュー提供及び消費者からの求評



土づくり指導力向上研修会の開催



プラットフォーム交流会の開催

対話

- ・技術研修会や交流会の開催の際に、生産者や関係者との意見交換を実施（5月～1月）
- ・部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（7月、1月）